

議会だより

NO.7

 吉野川市

目次

代表・一般質問 P 2	議案の審議から P 11	市民のページ P 14
クイズ P 10	副議長就任のあいさつ P 13	市民のみなさんへの募集 P 16



鴨島公園の清掃 大栗隆夫

代表・一般

ここが聞きたい

質問

6月議会定例会では12名の議員が代表・一般質問を行いました。

の質問を中心に取り上げました。

代表質問

枝澤 幹 太 議員
 道路行政について
 安全に、そして安心で
 きる街づくりについて
 教育環境について
 障害者自立支援につい
 て

工藤 俊 夫 議員
 飯尾川改修について
 防災対策について
 県の事務移譲について
 消防庁舎について

谷田 義 一 議員
 教育環境整備事業につ
 いて
 公共下水道事業の山川
 町川田処理区の今後の
 方針は
 市の木指定について

一般質問

福岡 正 議員
 総合運動公園と併設、
 併用した防災公園の建
 設は
 吉野川市に警察職員の
 派遣受け入れについて
 栗原 五 男 議員
 スポーツ総合運動公園
 について
 森山農免道路について
 中心市街地活性化につ
 いて
 市観光行政について

岸田 秀 樹 議員

浸水対策について
 新設道路について
 組織機構について
 耐震化について
 藤原 一 正 議員
 国民健康保険の高額療
 養費について
 学校教育について

高木 純 議員
 善入寺島への産業廃棄
 物処理物投入について
 住宅新築資金償還状況
 について
 市内小学校への脅迫状
 について
 増富 義 明 議員
 下水道事業について
 学校教育について

岡田 光 男 議員
 障害者自立支援法につ
 いて
 改定介護保険法につ
 いて
 中山 郁 子 議員
 子育て支援について
 吉野川市総合計画につ
 いて

後藤田 哲 夫 議員
 法定外公共財産の適正
 な管理運営と対応等に
 ついて
 人事異動について
 川島岡山地区の危険区
 域等の指定について
 公有財産の有効活用に
 ついて

代表質問



枝澤 幹 太 議員
 (薫風会)

障害者通所作業所の運営は

(質問)

支援センターの委託費で協力

(答弁)

質問 平成18年4月か
 ら施行された、障害者自
 立支援法による市内にあ
 る障害者通所作業所等の
 施設の現況を問う。

知的障害・精神障害・
 身体障害者が社会復帰等
 を目指し、市内の小規模
 作業所に通所しているが、
 同法施行により運営維持
 に困難をきたす状況にな
 りつつある。社会的弱者
 に対する施策を一刻も早
 くとらなければならぬと
 考えるが、いかがか。

再問 今後、補助金等
 カットされる現状に、弱
 者に対する施策をどのよ
 うに考えているのか伺
 いたい。

健康福祉部長 山川町
 に「あおぎワークホー
 ム」鴨島町に「アトリエ
 ひまわり」「すだち」の
 3作業所があり、45名の

健康福祉部長 自立支
 援法の中で地域生活支援
 事業を実施し、地域活動
 支援センターの委託事業

質問 国道192号線、吉野川市・徳島市間整備促進期成同盟会が設立されたが、事業概要は。

【その他の質問】

の委託費として協力させてもらう。また、吉野川市保健所と連携し、名刺注文や軽作業のあっせん等、社会復帰のお役に立てるよう協力していきたい。



鴨島町の小規模作業所「アトリエひまわり」

答弁 徳島市、石井町、吉野川市が協力し、要望活動を展開していく。

質問 桑村川に国の予算措置がとられたと聞くが、今年度の計画は。

答弁 内水被害軽減のため排水機を今後、4、5年かけ既設の12mから18mに増設する計画である。



工藤 俊 夫 議員
(清友会)

老朽化した消防庁舎の建築は

早急に議論し早期に対応していきたい

(答弁)

(質問)

質問 消防庁舎は、老朽化が著しく、その上、耐震構造がなされていない。被災時、新しく購入したはしごつき消防車や高規格救急車等の消防車両が庁舎の下敷となる等、市民の生命と財産を守る救急車両等が出動できない。また、災害時の緊急受信体制が現庁舎ではできていない。

市民が必要な施設は、だれがなんといっても必要なものであるから、移転先を早急に決めるべきだと考えるが。

市長 消防庁舎は、建築以来36年が経過しており、若手は入れたものの、最近の消防行政に求められる社会の要請にこたえるにも機能的でない

ことがわかる。また、南海、東南海地震の発生が予想される中



東消防署

で、防災拠点となる徳島中央広域連合消防本部及び東消防署については、非常に重要な課題として受けとめている。構成自治体である阿波市及び連合議会とも十分に協議を重ね、財政問題、また用地の選定等に慎重に議論し、対応したい。

再問 予想よりも早く大規模地震は発生すると

思われる。協議ばかりでなく吉野川市が主体性を持って、ある程度決定し、阿波市に同意を求めてはどうか。

市長 まさに指摘のとおりで、高機能の通信指令整備、また、庁舎の用地等々の確保についても早急に検討したい。

再々問 吉野川市すべての防災対策を担当している防災局は事務量に比べて極端に職員が少ない。職員を重点配分してもよいのではないか。

市長 できるだけ期待に添えるよう頑張りたい。

【その他の質問】

質問 担当部長は飯尾川改修の陳情に同行し、県議長に説明をしてもらえるのか。

答弁 参加し現状を説明する。

質問 防災対策について関係部所を取り組みはどうなっているのか。

答弁 市民の安全・安心のため、積極的に取り組む。

質問 県は93事務を移譲するとしているが、受



谷田 義一 議員 (麻植会)

スクールガードの取り組みは 取り組みを充実強化

(質問) (答弁)

質問 学校整備事業について、スクールガード、集団登校等、学校安全安心対策の取り組みについて聞きたい。

教育次長 緊急対策会議で、各小学校区に子供を守る、子供の安全安心対策会議を立ち上げることを決定し、15小学校区で実施されている。

市教委の委員会では、スクールガードの研修や子供の安全を守る啓発活動を中心に行い、事件、

け入れ体制はどうするか。

答弁 受け入れ可能か慎重に検討し、年次計画を策定。

事故の防止の徹底に努めていく予定にしている。

スクールガードは、関係者の方のボランティアとしての取り組みであり、各小学校区ごとに20名から30名の方に委嘱し、登下校時の子供の安全を守る取り組みを強化している。私も考えなければならぬのは、子供の安全、生命を第一に守るということが基本である。集団下校の取り組みとか、通学路の安全をどのようにするかについて、子供の安全安心対策会議で取り組みを進めるよう



川田小学校

要請している。今後、その取り組みを充実強化する。

「その他の質問」

質問 川田地区の下水道事業の今後の方針は。

一般質問



福岡 正 議員

総合運動公園と防災公園の併設は

(質問)

県当局とも協議、検討

(答弁)

質問 総合運動公園と併設、併用した防災公園の建設を積極的に取り組む重要性があると思うが考えを伺いたい。

総務部長 現在の市財政状況では非常に厳しいと考える。今後、県当局とも協議し県営による総合運動公園ができないか

答弁 事業計画の変更で期間が平成22年3月31日までに延長された。良好な水環境の創造に取り組んでいく。

質問 国の天然記念物に指定を受けているつ

じ公園の整備及び道路整備は。

答弁 早期に現地を調査し、文化庁へ現況変更許可申請を提出し、保護育成に努めていきたい。

補助事業を検討したいと考える。

再問 防災局長はスポーツ公園を防災公園と切り離して考えるとの答弁であったが財政難ゆえに2つを併設してどうか伺う。そのためにプロジェクトチームをつくって調査研究をすべきと思うがその意思はあるか。

市長 長期的な検討課題とし、機会あることに県にも要望したい。

「その他の質問」

質問 警察職員の派遣受け入れをしてはどうか。

答弁 警察や消防と積極的に連携を強化していきたい。



森山・山路地区 農免道路



栗原五男議員

森山農免道路に歩道は

前向きに検討したい

(質問)

(答弁)

質問 森山農免道路は、最近健康のことを考えて、たくさんの方が歩いている。たすきをかけた人も

いるが、車の通行量も多く非常に危険である。地元の要望もあり、歩道を設けることはできないか

聞きたい。また192号線のバイパスとして活用できないか何う。

建設部長 歩行者の安全面では危険であると十分承知している。歩道の設置は必要であると考えているが、市の財政状況を考えると厳しい面がある。今後、前向きに検討したい。
また当該道路を将来的には192号線のバイパス

【その他の質問】

又にという提案については、今後、地元の要望を国交省と県に伝えたい。

質問 スポーツ総合運動公園の取り組みは。

答弁 県にも要望し担

活性化は地元の理解が必須。

質問 中心市街地活性化に向けて研究会の発足は。

当者を置くことも検討したい。

質問 観光客の増加を図り商工業振興の方策は。

要。研究会等積極的に働きかけたい。

答弁 商工会、会議所、観光協会等関係団体と協議したい。

防災、浸水の実態や地域対応を考えたい。

【その他の質問】

浸水対策について

調査費を予算付け

(質問)

(答弁)



岸田秀樹議員

質問 昨年の十二月議会に質問した「鴨島地区における県道牛島・上下島線に埋設されている、未完成工事3号雨水幹線を一時雨水の貯水タンクとして活用しJR徳島線の下をくぐり抜け、ポンプで強制的に既存の排水管を通して江川に排水するという方法をとれば、浸水地域の市民に対して少しでも浸水被害を緩和

水道部長 財政状況の厳しい中、鴨島地区で取り組んできた内水面対策の経緯をふまえ、国、県など関係機関と協議を進めている。3号雨水幹線の基本図面を基にして、

答弁 埋設によって浸水被害の軽減を図れるので県に引き続き要望していく。本郷線については今後現地調査を十分し、検討したい。

質問 事業課の本庁への移動計画は。

答弁 移転経費は9月補正、移転作業は12月末までに終了。



喜来3号雨水幹線が布設された県道

質問 災害時における避難所の耐震化は。

教育委員会がほとんどだが、今後防災局が統括して把握し指示を出す。

答弁 避難所の管轄は



藤原 一正 議員

学力向上の現状と取り組みは

(質問)

学力向上検討委員会を設置

(答弁)

質問 次世代育成支援

行動計画の中に、重点目

標として、家庭や地域の教育力の向上ということが謳われている。子供の生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備を図り、これからの社会に対応するために直面している様々な教育課題の解決に努めていると考えるが、今回、各種の体験活動により子供たちに豊かな人間性や社会性をはぐくむ体験活動推進事業等の予算を計上しているという所信表明があった。

文部科学省は平成19年度から全国的な学力調査を実施するようだ。これにより、教育の成果と課題などの結果を検証するとともに、各教育委員会や学校等が調査結果を教育施策や学習指導の改善等に生かす機会を提供するなど、教育水準の維持向上を図る目的だそうだが、教育委員会としての学力向上のための取り組み方について伺いたい。

教育次長 国や県においては、昭和46年から様々な教育改革が進められてきている。その最終

が今回の教育改革である。大きな柱は明治以来続いてきた学校教育の硬直化や閉塞性を打破し、新しい時代にふさわしい地域に開かれた、主体的で特色ある学校とすることと、子供たちが確かな学力を身につけ、これからの社会を心豊かに生きる力を身につけていくことだ。

具体的学力向上のための事業としては、本年度から市内のすべての学校に学力向上検討委員会を設置し、具体的な目標を掲げ、組織的に取り組む体制づくりをすすめている。

「その他の質問」

質問 国民健康保険の高額医療費について、一定額だけ支払えば済む受領委任払いができないのか。

答弁 今後においても高額医療費資金貸付事業を有効に活用し、国保加入者の負担軽減を図っていききたい。



高木 純 議員 (日本共産党)

善入寺島の汚泥対策は

(質問)

国交省で土壌の検査中

(答弁)

質問 善入寺島及び江川湧水源近くに、産業廃棄物を処理したものがあ。この処理物は食品や下水や製紙などの汚泥を集めて発酵させ肥料と称して畑に積んでいる。これと同じものが井川町の山奥にもあり、大水がでると黒い水が流れ出て、住民の間では大問題となっている。この水を検査すると環境基準を大幅に上回る砒素や鉛が検出されたと聞き及んでい

本市においても市内地下水への影響が心配されるが、これまでの調査結果、及び、対応について伺いたい。

報があり、すぐに国や県の関係省と現地調査を行った。投入したのは、東三好町にある産業廃棄物再生利用業者で、廃棄物を堆肥にし販売する目的で県の指定を受けていたが、現在指定を取り消され、県と係争中と聞いている。いずれにしても置いてある所は、本市にも隣接しており、地下水への汚染等、市民の生活環境の悪化につながると懸念している。阿波市と連携を取り、国、県の関係機関に働きかけたいと考えている。なお、現在国土交通省四国地方整備局徳島河川事務所において土壌の検査を進めている。

市民部長 市民から通

答弁 十分な調査と配慮もしつつ、法的措置も検討したい。

質問 住宅新築資金貸付金を毎年市が900万円も支払っているが、悪質な滞納者への対応は。

「その他の質問」

質問 住宅新築資金貸付金を毎年市が900万円も支払っているが、悪質な滞納者への対応は。



善入寺島に放置された汚泥

質問 小学校への脅迫事件について、新聞報道を拒んだ理由は。

答弁 当該の子供や親、学区の地域の人たちの理解を得ることが一番と考えたから。

水道部長 現在旧鴨島町の普及率は60%である。今後、汚水適正化処理構想に適合した全体計画に見直し進めていく。

旧川島町においては川島浄化センターが、来年3月の併用開始を予定している。管整備について

また、事業に着手できない状態が続いている山瀬処理区について、現状と今後の課題を聞きたい。整備計画を伺う。

質問 現在、処理場を含め旧3町において、下水道事業が進められている。しかし、財政的に非常に厳しい中、管路整備については当初の計画よりも遅れる事が予想される。今後の市の下水道の整備計画を伺う。

今後の下水道事業の進め方は 汚水適正化構想に適合した計画に

(答弁) (質問)



増富義明議員

は、引き続き計画の範囲及び財政の許せる中で進めていく。

事業に着手できない山瀬処理区については再度の住民説明を実施し、これまでの経緯なども含め慎重に進める。

再問 今議会に汚水処理構想見直し業務委託料で、500万円計上しているが、財政面から見ても歳入の中核をなす市税が年々減収傾向となり、投資的経費に充てる財源の確保が非常に厳しい。毎年一般会計から多額の繰出金を投入しなければならぬ下水道事業は、内容として計画には、現状の厳しい認識のもと早急に見直す必要があると



公共下水道鴨島終末処理場

思うが、今回の汚水処理構想の見直しは。

川人助役 今議会計上している見直し業務委託料であるが、全体の処理経過がどのようになって

いるのかまず把握したい。それらを専門家の見地から改善策及び、事業費の削減を含めて客観的な評価を得る必要があると思う。それで、人口が密集している地域については

今までどおり管路による下水道事業を進めていくが、それ以外の維持費も出ないような場所については、もう一つの選択肢である合併浄化槽に早い段階で切りかえるのが結果的に市民サービスにこたえられると思う。

【その他の質問】

答弁 選択制の長所、短所を踏まえ検討する。



岡田 光 男 議員

障害者自立支援法は福祉切り捨て

(質問)

現場の実情を把握し、検討

(答弁)

質問 障害者自立支援法が4月から実施され、通所作業所へはお金を払って仕事に行くこととなった。利用者や家族から怒りや不安の声が広がっている。

また、国が通所施設への報酬をこれまでの月払いから日払い方式にしたため、利用者の欠席や退

質問 不登校児童への対応は。

答弁 適応指導教室の整備を図る。

質問 学校選択制の導入は。

る所もあるが本市においても独自の負担軽減策はできないか伺う。

福祉部長 市内の障害者が施設入所あるいは通所によって利用しているのは市内外合わせて36施設151名の方がいる。1人あたりの市の負担は、4月から月額で18万3,000円という数字が出ており、法の施行により3万円ほ

ど市の負担は安くなった。心益負担ということでは利用者も負担能力に合った費用を負担することにより、公平感と納得感のある仕組みであると考える。

報酬計算が月割から日割になったことでは、従来障害者の場合、身体状況が一定でなく、全く利用しない月にも市は応分の支払いをしてきた。今



阿波市の通所作業所

回の日払い方式はサービスの実態に即した適正なものだと考えている。

市独自の負担軽減策については、現段階において考えていない。

再問 ここに障害者の方に来た4月分の利用請求書と給与の振り込み通帳がある。それによると利用料1万5,412円に対し給与は1万2,504円とマイナス2,680円となり、なぜ働きに行っているのかわからない状況である。

こつした人から利用料を取ることで、本当に納得感や公平感が得られると考えているのか伺う。



中山 郁子 議員

つつじ公園の整備を急げ

(質問)

制限があるが検討したい

(答弁)

質問 市総合計画が策

定された中から3点伺い

質問 改定介護保険で必要なサービスの継続は。

答弁 日常生活に必要と認められれば引き続き継続。

【その他の質問】



船窪つつじ公園

たい。1つには市長が目指す市の将来像。2、公営住宅をどのように見直すのか。3、観光・レクリエーションの振興に対する考え方のうち、国の天然記念物の指定も受けている山川町船窪のつつじ公園周辺の整備をすれば、3シーズンすばらしい

い観光地になると思うが考えを伺いたい。

市長 総合計画に沿ったまちづくりを、丁寧に着実に進め、将来に向かって市民の豊かさを感じられる町をつくるために全力を尽くしたい。
建設部長 耐用年数を

経過している84戸については解体処分が基本になつているが、一定の基準を満たしているものについては補修改修を行うことも考えている。また、民間活力を導入する事業制度も考慮に入れ市民の要望に少しでもこたえる方法を検討したいと考えている。

産業経済部長 本年のつつじ祭り期間中、多くの観光客が訪れた。オンツツジは国の天然記念物ということである。いろいろな制限がある。今後、高越山周辺一帯を観光資源とし、一年間を通して観光やレクリエーションの場



後藤田 哲 夫 議員

危険区域の指定の進捗状況は

地元説明会を予定

(答弁)

(質問)

質問 災害から国民の

生命財産を保護するため、

となるよう、トイレ、駐車場の施設整備も含め、検討したいと考えている。

「その他の質問」

質問 幼児教育支援センター設置予定は。

答弁 国の委嘱事業の継続、調査研究をしていきたい。

質問 こどもに関する課を一つにまとめ、こども課として設置しては。

答弁 補助事業は縦割りとなつている。今後は担当や係が保護者によくわかるよう案内したい。

急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律が制定されている。その基準は崩壊を助長し、誘発のおそれのある山で、傾斜度30度以上、斜面の高さ5メートル以上、人家が5棟以上であり、さらに地域住民の同意が必要とされている。これについて、川島地区における危

険な場所の条件はすべて整っている。
17年3月議会において、「現地は10メートルの高さがあり、ブロックの擁壁と1割5分程度の土羽で斜面が保護され、擁壁と土羽の間に雨水が浸透し、現在では、擁壁と土羽の間隔が大きく開き、擁壁の倒壊等、危険な状



川島町岡山の急傾斜地

態であるため、要望をあげていく」との答弁だったが、その後どういった対応をしたのか。また、その進捗状況と今後の対応策を伺いたい。

建設部長 本年3月に土砂災害警戒区域等における土砂災害の防止対策の推進に関する法律により、岡山地区は土砂災害危険箇所として基礎調査を完了している。7月末

議会広報特別委員会視察

視察地

- ・ 佐賀県嬉野市
- ・ 福岡県築紫野市
- ・ 福岡県嘉麻市

視察期間

平成18年 7月19日～21日

視察目的

- ・ 議会広報について
- ・ 広報誌への有料広告の掲載について
- ・ 光ファイバー網について

視察研修の所感

嬉野市では、オールカラーでありながら、

日ごろ、危険区域の住民を対象とした地元説明会を予定している。指定に際し、市として地元説明会に参加し、住民の意見を聞いた上で意見書に反映させていきたいと考えている。

「その他の質問」

質問 法定外公共物の財産管理は適正か。また、赤線・青線の払い下げ進捗状況は。

議会だより印刷費は年間924千円となっている。

特異ではあるが、本市でも経費削減に努めたい。今後とも、読みやすい紙面づくりを考えると共に、市民とのパイプとなるよう頑張らなければならない。広告掲載は、全国の119団体で市広報の有料広告の掲載を実施しており、自主財源確保のため、本市においても取り組むべきであ

答弁 管理条例に基づき、適正な管理に努めている。また、払い下げ進捗状況は、水路1件、里道3件である。

質問 人事異動の基準と人員配置の適正化について伺う。

答弁 原則在職3年以上、所属長のヒヤリング、また、本人の希望調査を基準にしており、適正に

ると考える。「議会だより」への有料広告についても検討・研究する。

光ファイバーの全市布設は、多額の事業費がネックとなっている。しかし、光ファイバー布設については、国の奨励事項でもあり、高齢化対策や防災対策はもとより議会放映も可能となり、ひいては2011年のテレビデジタル化

配置されていると考えている。

質問 現在使用していない公有財産の有効活用についての取り組みは。

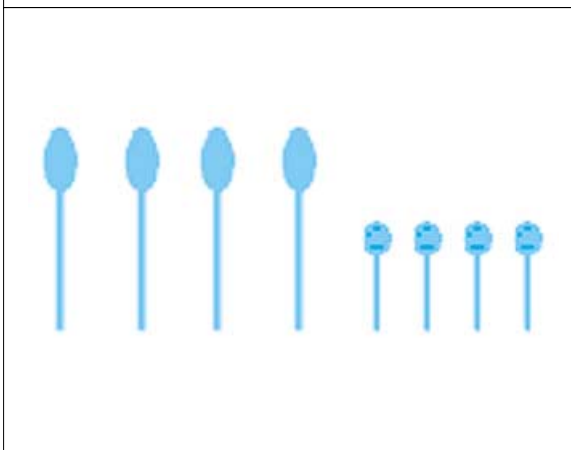
答弁 将来的に有効利用できるもの、そうでないものを見極めて、売却可能なものは売却する等十分に検討したい。

へも対応できる。早い時期の着工を望む。



クイズ

マッチ棒4本とその半分の長さのマッチ棒が4本で、同じ大きさの正方形を3つ作ってください



(前回の解答)

やす やぶ

やまがた なんと なめがた とめ
正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

応募要領/はがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

送り先/〒七七六 八六一

吉野川市鴨島町鴨島一五

☎〇八八三 二二二 二二四二

吉野川市議会事務局

締め切り日/平成十八年 十月十日

平成18年 6月議会定例会

議案の
審議から

日程：平成18年 6月8日～6月27日

6月定例会では、条例関係案9件、予算案11件、契約1件、その他10件などが市長から提案され、原案どおり可決・承認されました。「川島中学校体育館の建築を求める請願」についても採択されました。

文教厚生常任委員会

条例の一部改正

重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例

岡田光男委員 財政的な面だけ考えて、国や県が費用を削ったから市も削るといって、市独自の取り組みをしなければならぬ。弱者に負担を押し付ける現状に、負担の公平や納得感が感じられない。今まで市が負担していた分だけでも負担できないのか。

入院時の食事療養費が本年10月1日から削除される。当然、地方自治ということだけで独自の施策を講じるといって、県については、持ち出しを減らして財政的な負担を軽減するということもあるが、負担の公平性や過重な負担になっていないかを配慮しつつ、制度改正が行なわれている。市も同様の考え方で条例改正を行なっていくことと判断した。

今回の改正では、もちろん財政的な判断をしたが、現場での状況を随時把握しつつ、負担の公平

性と財政との両立を考え、今後新しい制度をつくっていく。起立多数で可と決定

補正予算

平成18年度一般会計関係分

河野利英委員 福祉部に臨時職員の賃金補正がたくさん出ている。人員削減といわれている今、これだけ多くの臨時職員を雇う理由は。

答弁 障害者自立支援法、包括支援センターの発足など今年度大きな制度改正があり、産休代替連合組合への派遣等で大きな欠員が出ている。今年度だけの予算だ。今異議なしで可と決定

産業建設常任委員会

補正予算

平成17年度一般会計関係分

後藤田哲夫委員 道路維持補修費が600万円減額補正となっている。これだけ余るのなら、道路の穴等の緊急を要する修繕にも対応したらどうか。

答弁 不用額については、緊急時に備えるためのものであり、随時行なう補修等については、補修費で対応している。

高木純委員 先の不用額については、入札などの請差によるものも含まれているのか。

答弁 含んでいる。
平成18年度一般会計関係分
後藤田哲夫委員 上桜温泉のサウナの修繕について説明を求める。

答弁 主な内訳として、泡風呂のコンプレッサの修理が6万3千円、薬風呂のポンプ修理費10万円、女子風呂のサウナ修理に90万円である。

公共下水道事業特別会計

岸田秀樹副委員長 下水道事業費の委託料で、汚水処理構想見直し業務委託料500万円とあるが、山瀬処理区の分も含めて、全般的に見直すということなのか。

また、旧町村単位にこだわらず、旧町村をまたぐことで、合併特例債の利用も考えられるであろうし、大きな構想で見直しをする必要がある。そして、専門家の判断に委ねるだけでなく、あくまでも結果は案として取り扱い、判断は市で行なうようにすべきだ。

答弁 山瀬処理区も含んでおり、どういった方向へもっていくか見直す



川島上桜温泉

ための委託である。汚水処理構想見直し業務については、専門家による専門の見地から内容を見てもらうもので、その上で議会に説明する。また、川島・山川地区等は人口の密集に関係なく広い範囲が計画区域となっているために、これからすべてに管をひくのでは相当な年数がかかるわけであり、合併浄化槽での対応も念頭に置いて地域の状況により見直そうという趣旨で行なうものである。見直し結果については、案として取り扱い柔軟に対応したいと考えている。

後藤田哲夫委員 特に山瀬処理区の下水道事業の継続・非継続の見直しについては、できるだけ早く結論を出す必要がある。

答弁 汚水処理構想見直し業務により、専門家の提案ができれば、委員ほか地元の声も伺いつつ検討したいと思う。
西岡 久委員 汚水処理構想見直し業務の中に、鴨島の上浦・牛島の一部及び森山地区は入ってい

るのか。
答弁 平成15年策定の汚水適正処理構想には入っていたが、現在の全体計画には上浦地区等は

入っていない。今回の汚水処理構想見直し業務には、鴨島地区も当然含んだかたちの業務となっている。以上異議なしで可と決定

本 会 議

本会議の最終日には、各常任委員会及び特別委員会で審議された内容について各委員長の報告が行なわれました。

質 疑

福岡正議員 平成18年度一般会計補正予算中の、委託料200万円について伺う。

この予算については、写真家、三好和義氏の吉野川をテーマにした写真集の制作に本市が協賛することのだが、財政的に非常に厳しい状況中、個人の写真家の創作活動に多額の公金を支出することに納得がいかない。
また、もうすでに船窪つつじ公園で創作活動を行なっていると聞いたが予算はもう執行されているのか。



川島町城山より吉野川を臨む

答弁 今回の観光費委託料200万円の補正予算については、本市の観光地、名所、旧跡等を有するプロの写真家、三好和義氏に写真撮影をお願いし、それを観光ポスター、観光パンフレット、名刺の台紙などに利用し、吉野川をPRする。

その一方で、今回市内で撮影された写真が出版社から発刊される予定で、その写真集によって、市が全国へPRされ、市のイメージアップや活性化につながるかと考えている。
また、予算については、今現在は三好和義氏との打ち合わせや一部の写真撮影をしているが、撮影時期の関係もあり、補正予算が承認されるまでは、県から三好和義氏の写真撮影に関する補助金を市観光協会が受け、その中で行なっている。
予算が承認された後は、市の200万円とプラス

して事業を続けて、8月ぐらいまでに行なう予定である。

工藤俊夫議員 水道事業会計補正予算中委託料及び固定資産購入費で(1)料金滞納管理システム導入により料金収入にどのような効果があるのか。(2)今までは地方自治法金銭債権ということ、地方自治法の5年時効であったが、民法適用で裁判等で2年になっている。その2年すれば不納欠損となるが、このシステムを滞納整理にどういうふうにならしていかうのかということについて伺う。

答弁 現行システムは、処理速度が非常に遅く、検索機能が不十分で、所在地、住所での検索ができないシステムとなっている。また、調定、収納の閲覧機能がないため、一たんプリントで出さなくてはならないという状況である。特に役所として、統計機能が不十分で債権管理機能がなく、未納者一覧の閲覧機能や個別の印刷ができないなど、



鴨島取水場

数多くの改善点が浮き彫りになっている。滞納管理システムを追加することにより問題を改善し、時効の管理や債権の管理、滞納処分の機能を加え、また下水道との関連、将来的に水道徴収の検針体制、また徴収体制も視野に入れた計画となっている。この財源については、合併補助金で賄う予定だ。

再問 滞納について、東京高裁で2年すれば消滅時効となるとの判例が出たが、最高裁ではどうなのか。

また全国水道協会の指導はどうか。

答弁 最高裁でも、消滅時効期間は、民法の2年間と解すべきとなっており、全水協からも指示がされている。

2点目の不納欠損については、滞納初期における早期に滞納処分を行う必要があるということが課題となっている。従って、給水停止処分により、長期の滞納者を減らし、

再々問 滞納が2年間で過ぎれば簿外管理にす

ることだが、理解に苦しむ。

答弁 簿外管理分については、市から民法上の形で徴収の働きかけは行わない。しかし債務者から「使った水道代だから当然払いたい」といった場合には、役所は雑収入として受け入れることになる。この民法146条により消滅時効が完成していても、相手方はその利益を放棄しなければ、期間が経過しただけでは完全に当該債務が消滅するわけではないということが民法上うたわれている。

請願

川島中学校体育館の建築を求める請願書

・紹介議員

- 枝澤 幹太議員
- 高木 純議員
- 後藤田哲夫議員
- 田村 修司議員
- 玉水 好夫議員
- 福岡 正議員

質疑

北川麦議員 請願書の中で「新体育館の建築計

画について、現時点では全くの白紙状態である」という文章があるが、当然、この請願書に署名をした旧川島町の議員は白紙の状態だという認識である」として解している。ところで、文教の常任委員会での審査の中で、白紙の状態ということについて、理事者から説明がなかったのか伺う。

答弁(犬伏正春文教厚生常任委員長) 委員会で本請願を採択した後、理事者より白紙の状態ではなく、すぐは着工できないとの説明があった。



新築中の川島中学校

再問 体育館の早期建築に反対しているのではない。請願者に請願事項の文章の訂正を求めないのは不思議だと言っているのだ。文教委員は全員、建築計画は白紙状態を考えていたのか。

答弁 そうではない。異議なしで採択

意見書

出資法の上限金利の引き下げ等の改正を求める意見書

・提出議員

工藤 俊夫議員
異議なしで可決

特別委員会の設置

庁舎検討特別委員会

- ・委員長 枝澤 幹太議員
- ・副委員長 増富 義明議員
- ・委員 工藤 俊夫議員
- 犬伏 正春議員
- 高木 純議員
- 河野 利英議員
- 栗原 五男議員
- 谷田 義一議員
- 北川 麦議員
- 後藤田哲夫議員

常任委員会という担当委員会がある。なぜ余分な費用のかかる特別委員会をつくる必要があるのか。答弁(後藤田哲夫議員) 鴨島でも川島でも企業倒産や本社移転があり苦慮している。企業立地条例の充実、拡充というところで提案した。

再問 産建常任委員会ではない緊急の課題なのか。答弁 地場産業の育成を図り、郷土にふさわしい企業を誘致し、若者の働く場の確保が必要と考える。

北川麦議員 産業建設

質疑

企業立地対策特別委員会

再々問 常任委員会の重要性や特別委員会に対

する常任委員会の優位性をないがしるにしているのでは。答弁 していない。各常任委員会での審議も重要だと考えている。

副議長就任のごあいさつ

高木 純議員



副議長に選ばれ、その職責の重みをひしひしと感じているところであります。

行政と議会が車の両輪となって市政を進めていかなければなりません。行政主導となりがちのところが多いなか、吉野川市議会は、議会の役割をいかに発揮しているかと自負しています。

副議長の役目は、議長の補佐役です。私は議長をしっかりと補佐し市民の暮らしを守るために、議会がしっかりと機能できるように全力を尽くしたいと考えています。

まだまだ若輩者ではありますが、よろしく申し上げます。

市民のページ

『明日葉』の不思議

山川町川田原田 親光

出そつで出ない尿、そして、トイレに通う頻度に悩む。前立腺肥大は男の老いの哀しみだ。だが、カボチャをよく食べる地域にはその発症は少ないという。カロチンの成分が含まれ疲労回復にも効果がある。種をむいて食べ結果ははつきりした。しかも、ニュージラードやトンガからはるばるくる。「栗より甘い」は嘘ではない。今年の『老人基本健診』はコレスト値・心臓・肝臓・血糖値すべて異常なしとの判定はありがたい。「命は食にあり」をつくづく知った。カボチャだけでなくアシタバもまた不思議な野菜だ。

かつて、中国秦の時代、始皇帝は不老不死の妙薬を腹心に探らさせるため日本へ遣わした。徐福が

見つけたのは八丈島のアシタバだった。江戸時代、流人はこれによって生命を永らえた。一年中青々と繁茂し葉も茎も根も食用となったからだ。その成分のゲルマニウムは豊富で『万病予防のもと』と言われる。半導体の身体の中をかけ巡り血流の汚れを浄化しガンや高血圧の抑制のためになるので別名『食べる酸素』と言われる。また、動物が魚にしかない『ビタミンB12』をもっている。造血作用や頭脳を明晰にする。さらに、情緒を安定させるので切れる子の栄養になる。『緑の血液』といわれる葉緑素は傷口をはやく治す肉芽形成や抗菌作用さらに胃腸の調節と肌をなめらかにする。骨を形成し、体質をアルカリ性に変えるカルシウムもある。ルチンなど血液の壁を強くする。全身の機能に働く成分がアシタバに多い。脳神経・筋

肉の働きにはビタミンA・B6・B12・チアシン・ナイアシン・パントテン酸が必要だ。それも含まれるアシタバの薬効を利用したい。

さらに、驚くことに『明日葉』と書くように茎の



明日葉（あしたば）

太った中に芽を抱き切れば翌日に芽を出す生命力はすばらしい。5年経つと無数の花を咲かせ実をつけ苗をつくる。それを見届けると枯死する。人間の一生と似ている。化学肥料を施すと黄変しほ伏する。専ら草木を焼いた灰がいい。わが家では若葉はおひたしにする。葉や茎はゆでてアク抜きし天ぷらや漬物にする。葉はご飯に入れたり味をつけ梅干しを入れた握り飯を包む。セロリ・人参・玉ねぎ・ピーマンと油いためにしたとき少々入れる。根は陰干して煎服

する。生根500gを干せば150gになりそれが1か月分だ。切れば黄色液体は薬品になる。治療は化学薬品・手術・放射線療法があるがそれぞれ障害もある。食べ物の成分を摂り入れ免疫力をつくり自分を治すのだという強い信念をもつことだ。それは、インターフェロンの生成を誘発し自立の精神を促進する。だから体と心を繋ぐ野菜でもある。健康そして好奇心はしあわせの源泉だ。知ったことは知らせたい気になる性分だ。

若者に就労場所を

山川町宮島 河西 昇

過日開かれた四国知事会議で飯泉知事は京阪神在住の本県出身者130万人が近時、定年を迎える。その人たちに定年後は減少衰退の続く故郷に帰っていただき、『元氣徳島構想!』を語っておられました。また、議会だよりNo5一般質問の

中で『若者定住に就労場所を』という記事も目にしました。市への提案に少し無理も感じますが、

昨年9/16、17日に大手町日経ホール。隣接するjaビルで開催されました。『ふるさと回帰フェア2005』『自然

豊かな地方への回帰、主催 n p o ぶるさと回帰支援センター：他）ワタクシめ！も日本総合研究所の友人からお誘いを受け参加させていただきまし

た）
今、「終の栖」はふるさと暮らしが新鮮とたち故郷に還ります。気候、風土、温もり、絆、心：異にする硝子の都会（まち）に移り棲む。集団就職という流行り言葉も生まれました。：夢燃やすためですか。生活（くら）し探しの旅ですか。：都会に野の花咲きますか。：心に花咲きますか。：星光りますか。月に兎遊びますか！：あの日の輝く瞳。眼差し。笑顔：どこに忘れたのですか。：鉛色した空に。：大都市圏に集中する人口が様々な社会問題を生みます。環境問題。災害。多発する事件事故。響き失う。人間関係……等生活（いき）ていく都市（まち）としての機能は地獄絵図です。：そんな中、全国の知事さんたちが『地方暮らし』支援に立ち上がり

ります。：団塊の世代、北の大地への移住大作戦、雄大な自然。豊かな感性。：様々な生活支援サーピス等の受入れ体制を充実し終の住みか。第2の人生の夢。見つけてくださいと北海道 高橋はるみ知事。：最後の清流、四万十川『よさこい祭り』。少しの基本さえ守れば好きに気ままに自己表現できる。この自由、束縛のなさが土佐の風土。橋本大二郎高知県知事。：多様な生き方に目を向けた『優しい政策』必要。：農業も漁師も：都会から人が入ってこられる環境を創ってきた。と和歌山県。木村良樹知事。：悲しみ色泣いている空から『自然豊かな地方への回帰』。今。始まります。* 東京在住。電子機器製造に従事する30代前半ご夫婦で参加された方と宴席で一緒にする機会に恵まれました。：教育環境生活空間：等考えた時都会まちは忍耐の限界と教えてくれました。既に、佐倉市で築65年75坪の物件を紹介してい

ただき交渉を開始していると聞きしました。：我が吉野川市からは『故郷回帰。田舎暮らし』について何等お聞きしませんか。『夢紡ぐ』で立ちあげた街。です。こんな事業にも心注ぐ責任があります。：市内には空き物件。中古物件。は『ステル程』あります。：：何方が読まれてるか。知りませんが、貴方は『日が暮れて n a n b o』お日様ニシ西の世界で考える。創造する。：等の知識知恵も無く困ったものです。いつも i y a k i ち！の干貫メ！もいますが。街の明日。真剣に考えませんか。若者に就労場所の提供。：企業誘致に知恵絞り進出する。企業に種々の減免処置！できれば土地は無償供与する。：現世平均的な知識知恵創造 d e w a 夢の明日を創造（つく）る事。不可（できません）。奇想天外。おおボラ！x x 恵美的！発想。時には必要（い）る。

天然記念物のつつじを守れ

山川町奥川田 住友 政雄

数年ぶりに吉野川市山川町のつつじ公園に登った。一瞬目の前の光景に我が目を疑った。200300年もの間風雪に耐えてきた三ツ葉つつじ、全国に無類のその古木、巨株が雪のため、軒は裂け折れ重なる枝、見るも無残な姿である。昭和60年度の天然記念物の指定を受けた町はこれ幸いと観光化に力を入れ労費を費やし群落の周囲を遊歩

道で囲み、株間の雑草木はきれいさっぱり切除され、まるでお花畑である。何百年かけ草木は大自然の法則に従い築き上げてきた共栄共存のバランスを何のためらいもなく無残なまでに破壊し裸にされたつつじだけが虫の息で呻いている。毎年増え続ける枯木、倒木の対策として、種子を採取し、畑で苗木を育成し、植林造林に努めているとか、

この行為こそがすでに天然であるべき基本を失ってははいまいか。何百年の間、人が入る事なく放置してあつたが故に生れた価値ある産物である。大自然を守るには金も物も要らない。自然の姿、形をそつと遠くから眺め、その価値を楽しむべきだ。人々が手を加える事の愚かさに気付くべきである。失った物の回復には長い時間がかかる。現状の管理を続けるなら、やがて伝説化するのもそつと遠くはない。



船窪つつじ公園

募集要項

- テーマ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
- 規定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可(3点まで)住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 原稿料** 5,000円
- 締め切り** 平成18年10月末日(消印有効)
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。
- その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応募先** 〒776 8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
吉野川市議会広報特別委員会「表紙写真」係
TEL(0883)22 2241

表紙の 写真 募集

市民の皆さんの声を掲載

— あて先 —
〒七七六 八六一一
吉野川市鴨島町鴨島一五番地一
吉野川市議会
広報特別委員会「市民の声」係
TEL (〇八八三)二二二四二
FAX (〇八八三)二二二四二

- 原稿用紙三枚以内(四〇〇字詰)
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記(匿名の場合も)
- 締め切り
平成十八年十月末日(消印有効)
* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

— 規定 —
市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。匿名も可。

あじがわ

戦後60年余。悲惨な戦争体験や被爆の現実を語り継ぐ故老は少なくなつた。

さきごろ、北朝鮮で弾頭ミサイルの発射実験が行なわれた。日本を標的にしたものが、アメリカを標的にしたものを推し量ることはできない。しかし、隣国協調や国際平和を願う人々にとっては赦されざる行為である。

この事によつてますます防衛論議が過熱しているが、我が国は専守防衛は元より平和外交を推し進め、戦争をしない国でなければならぬ。

私たちは、戦争の愚かさや核使用の脅威を今更に故老に学び、若者に語り継がなければならぬ。仁と徳を持つて。

議会広報特別委員会

委員長	北川 麦
副委員長	栗原 五男
委員	田村 修司
委員	増富 義明
委員	岡田 光男
委員	中山 郁子
委員	後藤田 哲夫